

# 平成15年度事業計画のポイント

## § 事業方針

旧自動車工業振興会、旧自動車産業経営者連盟との統合2年目を迎えた15年度においては、製造業として「モノづくり」の原点に立ち返り、常にお客様の視点から物事を捉えることに努めるとともに、統合によって得られた総合力を最大限に発揮し、会員会社の協力の下、迅速な意志決定と透明で効率的な運営に努め、直面する課題に積極的に取り組む。

## § 環境・安全など技術の進歩を通じた社会への貢献

- ・燃料電池自動車等の次世代低公害車に関する技術開発の推進並びに普及拡大に関する検討・新たなディーゼル車排出ガス規制に対応した新技術の開発とユーザーへの適切な情報提供の推進
- ・行政や関係業界とも連携した燃料品質改善に関する取り組みの推進
- ・工場事業所における環境保全対策に関する検討
- ・自動車リサイクル法を適切かつ確実に実行に移すためのシステム構築に向けた取り組みの推進
- ・ITS(高度道路交通システム)、ASV(先進安全自動車)等を活用した車両の安全性向上に関する検討
- ・交通安全思想の普及・拡大に関する取り組みの実施等、総合的な交通安全対策を推進

## § 自動車産業のグローバル化への対応

- ・貿易・投資に関する共通ルール策定への支援、自動車の技術基準・認証制度の国際調和活動への参画、業界共通ネットワークの構築等、グローバル化時代に対応したビジネス環境整備を推進
- ・日米欧各国自動車メーカー首脳によるグローバルミーティングの開催等、各国間の連携・交流強化を図るための施策の推進
- ・モータリゼーションが急速に発展しつつある中国との交流強化をはかるため中国事務所を開設するとともに、アセアン自動車産業競争力強化のため、専門家派遣事業等を通じた人材育成事業に引き続き協力する

## § 豊かなクルマ社会の実現

- ・簡素、公正、中立で環境や国際調和に配慮した自動車税制の実現を目指した取り組みの推進
- ・交通流の円滑化に向けた政策提言及び、道路などの交通環境整備に向けた調査・提言活動の推進
- ・自動車保有に必要な諸手続のワンストップサービス導入に関する検討
- ・第37回東京モーターショー-乗用車・二輪車-(2003年)を国際的に1の評価を得られるよう内容の一層の充実、情報発信機能強化等に努める
- ・自動車製造業の人事労務問題全般に関する調査、研究等を実施し健全な労使関係の構築に努める
- ・各種調査の実施や各種広報資料の作成、公表を通じて自動車ならびに自動車産業への理解促進をはかるとともに、具体的な方策、提案を広く社会へ発信することに努める